



やなぎさわ ひろゆき
柳 沢 浩 之
(清風クラブ)

**観光振興・公立碓氷病院・
JR信越線について**

公立碓氷病院の充実について

問 平成29年度の病院事業として、地域包括ケア病棟を新設した。

答 稼働率の現状と成果と課題は。

問 入院患者は、1万6人で稼働率は、約56%です。成果は、1日当たりの入院患者単価が上がり、前年並みの入院収益を維持することができました。2病棟制に変更したことにより、看護師等の負担軽減や経費の削減につながっています。課題は、患者を増やす方策の検討と適切なベッドコントロールの実施など検討します。

問 稼働率向上に向けての考えは。

答 地域の開業医や介護施設から入院患者の紹介を増やすことが重要です。また、レスパイト入院を2月から受け入れていきます。

問 レスパイト入院の目的と現状。

答 一時的に在宅介護が困難な場合、地域包括ケア病棟に入院できる機能です。利用者は、2人

で延べ日数は38日です。

問 使用されていない2階病棟の現状と活用策は。

答 2階病棟の50床は休床としています。いつでも稼働できるようにしておく必要があります。このことを踏まえ、活用策については、院内各部署から意見を聴取し、様々な角度から検討していきます。

その他、ぐんまステイネーションキャンペーン、人間ドック、駅の活性化について質問しました。



地域包括ケア病棟 (公立碓氷病院)



よしおか のぼる
吉 岡 登
(民声クラブ)

**子ども子育て支援・
廃校利用について**

子ども子育て支援について

問 放課後児童クラブの現状は。

答 利用児童数が年々増加傾向にあり定員を超える利用があった児童クラブを改善する為に条例を改正し、定員の見直しにより本年4月から定員を20人増やし利用児童の緩和が図られました。

問 現状の問題点は。

答 夏休み期間中の申込が増え、申込状況によっては、受入できない場合も危惧され、既存施設の支援単位を増やすことや新たな施設整備が必要なクラブがあることが課題の一つです。

問 放課後子ども教室の進捗状況はどうなっているのか。

答 実施の見通しについて29年度第1回安中市総合教育会議でも議題となり、種々の問題点があげられました。

問 実施できない理由は何か。

答 全児童を対象としているため大規模になりやすく、安全面の

確保が難しくなる面が懸念され、空き教室を利用する場合、教室

の確保、設備の整備、学校長の理解を得ること等、全てを整える事が必要となります。

問 解消策はあるのか。

答 先進地にならない、協議会等を立ち上げて検討、検証していく必要があると考えています。
その他、廃校利用について質問しました。



西横野児童クラブ